

最新設備の導入で難度の高い デザインのニット製品を提供

株式会社モードクリハラ

事業テーマ ▶ MADE IN JAPANニットメーカーの生き残りをかけた最新コンピュータ編機、最新のデザインシステムの導入

◆カシミア製品を得意とするニット製品メーカー

平成20年の創業以来、ニット製造会社として高い評価を得ている株式会社モードクリハラ。一口にニット製品といっても、羊毛のウールやアンゴラウサギ、アルパカの毛などの素材を使用した製品があるが、中でも最も軽くて暖かく高級なのがカシミア製ニットである。カシミアは中国北西部やネパール、モンゴル、イランなどの山岳地帯に生息するカシミア山羊の毛によって作られる。上質な肌触りなどの優れた品質だけでなく、限定された地域に生息しているため、大変貴重で高価な素材となっている。また、カシミアは繊維が細く繊細な素材のため、製品化には高い技術が必要となる。同社では、このカシミアを使ったニット製品を得意とし、百貨店などが扱う高付加価値製品として販売されている。

「ニット製品全般に言えることですが、高級品のカシミア製品についても、近年では低コストの海外生産が増えています。それでも、やはり日本製は技術が高いので、信頼性を重視するお客様に選んでいただいています。創業以来、高級素材を高い技術力で作り上げた高品質なメイド・イン・ジャパンとして自信を持って製造してきました」と話すのは代表取締役の佐藤修氏。

国内のアパレル市場において、低価格の海外生産品が席卷する中で順調に業績を伸ばし、現在手がける製品の6～7割がカシミア製品となっている。

◆求められる新たなデザインに応え限界を解消

カシミアに特化したニット製造会社として、様々なデザインのニット製品を製造してきた同社だが、既存設備の能力的制約によって、取引先が求めるデザインや複雑柄のカシミア製品



を作ることができない場合も生じてきた。また、創業以来コンピュータデザインを行ってきたことによって多くのデータが蓄積され、これまで多数のデザインサンプルの提案を行ってきたが、既存設備の関係で再現できない自社デザインも発生するなど、もどかしさを感じるようになった。

「ファッションは常に進化し続けているので、新しいデザインが求められています。カシミアはとても繊細な素材のため、複雑なデザインや柄の場合、糸切れなど不良率が高くなってしまいます。原価ロスの改善という点からも、早急な設備更新が必要となっていました」。

さらに既存設備で対応できる製品についても、リードタイムが長くなってしまうことから、急な小ロット・短納期の対応にも難しい場面があり、製造を他社に奪われてしまうこともあった。これらの原価ロス、営業ロスの解消のため、ものづくり補助金を活用し、最新のコンピュータ編機とデザインシステムの導入へと踏み切った。

◆生産効率と原価ロス改善で生産・提案力を向上

導入した最新コンピュータ編機は、秒速1.4mの最高編成速度を誇る。これにより、編成速度は既存設備よりも約30%向上し、リードタイムを大幅に短縮することが可能となった。また、生産する製品に合わせ、その都度、設備調整が必要になるのだが、既存設備では半日以上時間を要していた。新しい設備では、簡単なセットアップだけで完了するため、ここでも大幅なリードタイムの短縮を果たし、結果的に既存設備と比べて



高速編成を誇る編機

150～180%の生産力アップを達成した。

「ケーブルやダイヤモンド、ハニカムといったアラン模様など、他社ではなかなか真似することのできない多様で複雑な柄の編み込ができるようになったことで、これまで製作することができなかったデザインサンプルを提案することも可能になりました。デザインサンプル1型あたりに掛かるコストも3割減を実現しています」。

また、新たなデザインソフトの導入により、既存のソフトと比べ、プログラミングに要する時間が格段にスピードアップ。デザインサンプルの作成数も増加し、これまでの年間200型から年間300型の作成を見込んでいます。

◆進化したデザイン性で新規顧客層の取り込みも

すべてのものづくりにおいて、低コスト化が重視される近年、ニット製品をはじめとしたアパレル製品のほとんどが海外生産に切り替わっている。その一方で、百貨店や専門店を利用する消費者にとって、特に高級品については日本製の高い品質と安心感を求める傾向も根強い。

「やはりメイド・イン・ジャパンの信頼性は高いと思います。その一方で、海外生産品との圧倒的なコストの差がマイナスと

なっていることも事実です。今後は日本製ならではの信頼性の高い品質の維持と低コスト化を両立させることが、メイド・イン・ジャパンメーカーとして生き残る道なのではないでしょうか」。

今回の事業により営業ロスと原価ロスを解消。企業体力を強化し、生産能力の向上も達成した。今後は多様で高度なデザインを武器に、若者やインバウンドユーザーなど新たな消費者層に向けた魅力ある製品づくりにも取り組む予定だ。

会社概要

会 社 名	株式会社モードクリハラ
代 表 者	代表取締役 佐藤 修
所 在 地	宮城県栗原市築館字赤沢76-1
資 本 金	720万円
従 業 員 数	23名
業 種	製造業
設立年月日	平成20年2月19日
TEL	0228-22-8801
FAX	0228-22-8802
EMAIL	kk.mo-dokurihara@arrow.ocn.ne.jp
URL	_____



代表取締役／佐藤 修 氏

今こそメイド・イン・ジャパンの底力を

当社ではメイド・イン・ジャパンならではの品質と信頼性を武器に事業展開してきました。特に高い技術を要するカシミアに特化したことで、取引先やユーザーからの信頼を勝ち得てきたと感じています。年間約20,000枚のカシミア製品の製造で多くのノウハウを積み重ね、製品にフィードバックしてきたことも大きいと思います。今回の設備更新でさらに10～15%の増産を見込めるので、デザインサンプルの製作の強化とともに企業体力の強化も実現できました。また、国内工場でこれだけの量のカシミア製品製造をこなせるのはほとんどありませんので、当社の大きな武器の一つだと考えています。今後は若い人や日本を訪れた海外からの観光客にも、メイド・イン・ジャパンのニット製品の良さを広く知ってもらうことで、業績のさらなる拡大を目指していきたいと思っています。